

八乙女中学校における登校に不安や悩みがある生徒・保護者への支援について

(令和6年7月 八乙女中学校長)

八乙女中学校では、「不登校というだけで問題行動であると受け取られないよう配慮すること」を前提に、全校生徒に「社会的な自立に向けた支援」を実施するに当たり、全ての生徒に学びの場を確保し、学びたいと思ったときに学べる環境を整えることを目指し、以下の内容に取り組めます。

- 1 登校することに不安や悩みがある生徒に寄り添い、また、保護者の皆様と協力し、教育相談や学びの継続、校内の居場所づくりに努めるとともに、学校以外の学びの場とも連携し、支援を行います。
- 2 生徒や保護者で不安や悩みを感じている際は、教員（学級担任に限りません）のほか、校長・教頭、養護教諭、スクールカウンセラーやさわやか相談員などが相談支援を行います。連絡アプリ（まなびポケット）や連絡帳、お手紙でも構いません。御希望に応じて、お話しやすい場所や時間、学校の出席者を調整します。
- 3 相談について、次のような準備をしています。
 - ◆学校で行う生徒との教育相談：毎年7～8月と11月（3年のみ）・12月（1・2年）に予定していますが、それ以外の日でも相談することができます。いつでも御相談ください。
 - ◆スクールカウンセラー：毎週金曜日（もしくは、木曜日）にきています。相談時間の予約が必要です。予約は直接御連絡（234-1429）しても構いませんし、学級担任に相談していただくこともできます。
 - ◆さわやか相談員は、教員や専門職とは異なる立場で、生徒のお話を聞きます。
 - ◆教職員の研修：不安や悩みを抱える生徒の理解や、相談能力の向上を図っています。また、学校で行うことができる支援策や、学校以外の場での支援内容などの情報を、いつでも提供できるよう備えています。
 - ◆教職員間の情報共有：生徒が抱える不安や悩みの状況を、関係する教職員の間で共有し、的確な支援が行えるようにしています。
- 4 在籍学級に入りにくさを感じている生徒に対して、次のような支援を行っています。
 - ◆在籍学級以外の居場所：教室以外の居場所として、別室を用意しています。時間ごとに担当教員が付き、生徒の様子を見守りながら学習支援等を行っています。
 - ◆不登校支援コーディネーターの教員や生徒指導主事が中心となり、生徒の様子や支援の在り方について、生徒の所属学年と情報共有を行っています。
 - ◆具体的な支援の在り方（学習支援を含む）については、生徒とその保護者の意向をうかがい、相談を重ねながら対応しています。
- 5 生徒が安心して学ぶことができるように、学校外施設とも連携しながら、支援を行います。主な学校外施設は「仙台市教育支援センター」のWebページにまとめてあります。教育支援センターのアドレスは以下のとおりです。
(「教育支援センター」 <https://sites.google.com/g.sendai-c.ed.jp/jiyu>)

八乙女中学校は、これからも、教職員が一丸となって、登校に悩みがある生徒が安心して学べる場所を工夫・提供してまいります。御相談は、八乙女中学校職員室（234-1414）までお願いします。